

ひつじの学校

今後どうなっていきたいか

一商店街の活性化一

前述したとおり商店街の活性化のためには一つの賑わいの場にならなければいけません。また、お客様の憩いの場となるようにしたいところです。ひつじの学校への学校には、物、食、体験というコンセプトがこめられていきます。具体的には作家さんの食器を見て、楽しめたり、ワークショップをすることが体験の場となったりすることができるといいます。学びの場になってほしいという思いが込められています。

意外なお客様

現在、来てくださるお客様は予想に反して20代から30代の方が多くいます。これをインスタグラム等の影響が多いと知られています。特に蒸籠を使ったランチが大人気です。エロナ福の影響でティークアムが増えましたが、実際に足を運んでいただくお客様が一番うれしそうです。



Instagram @hitsuji nogakko

一番外編一

好きなことを集めることの大切さ



↑店内にある好きなものがつまった棚

大人になっても自分の好きな事を持つ事はすごく大切であるとおっしゃっていました。好きなものに囲まれることは楽しく、自分の人生を豊かにしてくるそうです。これは大人になっても大切なことではないかと感じました。私達には、好きなものを集めてほしい。しみみで友人でも極めたり、自分の力でなにか一つでもアクションをおこしてほしい。と話されていました。自営業にたいしては不安もあるそうです。エロナ福でもそれは変わらないうです。しかし、かしのようになんか「好き」はとり入れやすく、楽しいそうです。

編集後記

ご覧いただきありがとうございます。私達はこのようなものを初めて作らせて頂いた。ので未熟な部分もあったと思います。お力の合せて作り合いました。お店の方も優しい方ばかりであり緊張しませんでした。本当に協力してくださった方、ありがとうございました。

